



News Letter

Vol.16

とみさと市民活動サポートセンター

令和2年3月11日発行



災害時の自助・共助・公助について考える



自助

自分で守る



共助

みんなで
助け合う



公助

公的機関が
支援

普段から、自分のこと、
周りにいる人のこと、公共
機関の役割などを知っておく
と、いざというときに、その
知識が役に立って、落ち着
いて行動できるよね！

困ったときは
お互い様ね！
近くの誰かに
頼ろう！

迷惑だなんて
思わないで！

始めは自分のこと。
安心したら
周りのこと。
備えあれば
憂いなし！



電線にかかる倒木（富里市内）

なにか困ったことある？

ううん、大丈夫だよ！
……でも……
実は……実はね……

話だけでも聞くとよ！

ありがとう！
それだけでもホッとする！
よろしくお願いします♪



昨年の台風19号や豪雨災害の時、強風の真っ只中や、停電断
水中など、あなたはどうしていましたか？水も出ない、電気も
つかない、ご飯が炊けない、などの経験をした方も多かったの
ではないでしょうか？

水が出なくて近所にもらいに行くこともできない、給水所は
どこにあるのかわからないなど、どんどん不安が広がってしま
います。

台風や豪雨の場合、天気予報などである程度の予測はできる
ので、ガソリンを満タンにすることや、貯め水をするなどの
対策を考え行動し、少しでも安心材料を増やしておくことが大
切です。自分の問題（心配なこと）が少しでも解決できれば、
その分、周りの人たちに気を配れるようになりますね。

このように、まずは自分たちでできることを考え実践してい
くことを「自助」「自立」と表現します。

さらに、ご近所同士の助け合いを自発的に行なっていくこと
が「共助」となり、「公助」が届くまでの間、不安や不便さを
和らげ、補い合えます。自助・共助・公助について、まずは個
人個人で考えていきたいですね。

うちはこんな地域です！第3弾

「日吉台小学校区自治会連絡協議会」

地域の課題解決は 情報共有から

日吉台小学校区自治会連絡協議会（連協）は正会員8団体（各自治会長、副会長）準会員13団体（防犯連合会、防災連合会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、PTA、ひよし商店会など）顧問5名（小中学校長・教頭、前連協会長）で構成されています。連協では住民が「健康で、明るく、楽しく、元氣よく快適な生活を維持していく」ために毎月運営会議を開き、所属団体の活動報告や共通の課題について意見交換を図るとともに、お互いの行事の手伝い等を協力しています。

始まりは40年前

連協立ち上げのきっかけのひとつに、日吉台地区開発時からの共有施設（ゴミポスト・グリーンベルト・防犯灯）の維持管理があります。その課題に対してみんなでまとまっていく必要がありました。また、日吉台5丁目公園で行っていた夏まつりを他の自治会からも「みんなで行おう！」という声が出て日吉台小学校の校庭をえるように交渉するためでした。子どもたちの「ふるさとを作りたい」という



ひよし夏まつりの様子

思いで始まった夏まつりは日吉台小学校区である日吉倉地区にも声をかけて「ひよし夏まつり」として毎年7月下旬に2日間行われ多くの住民が参加しています。

顔を合わせて 築く絆

連協としての行事は7月「ひよし夏まつり」と2月「ひよし音楽祭」です。開催準備も大変ですが、地域の人たちの楽しみでもあり交流できる大事な機会になっています。また、「コミュニケーションの場」をつくることにも積極的に取り組んでいます。ひよし商店会主催の「とみ市」「ひよし青空市」への参加協力や、自治会でのカフェ・茶話会・食事会なども実施しています。



地域の街路樹を剪定

高齢者だけでなく、お互いを知り合うことが災害など非常時の助け合いにおいて有効なことから、交流する場所が大切だと考えています。

時代の変化に対応する連協へ

連協や自治会では担い手が年々高齢化しているという現実があり、今変えないと！と強い思いを持っています。一部の自治会ではその試みとして「常任幹事」（会議に参加するが議決権はない）を募って助言や活動支援をすること、役員の負担を軽減すると同時に住民には自治会の必要性を感じられるという声も出ています。連協・自治会をこれからも継続させていくために試行錯誤しながら、活動の在り方・内容や組織の形態を、直面する状況に適した形に変えていこうとしています。

グラフィック・レコーディング入門講座

会議を円滑に進めていくための方法

11月2日（土） 会場：とみさと市民活動サポートセンター

市民活動団体や自治会などを対象に、会議中での意見や会話を全員が目に見えるように書くことで会議の内容を共有し、話し合いを円滑かつ実りあるものにするを目的としました。

当日は、自治会長・市民活動団体メンバー・包括センター職員など17名が参加し、講師からグラフィック・レコーディングの効果や手法について講義を受け、その後実際に話したことを「→（矢印）」や「イラスト」を使って目に見える形で記録していくというワークを行いました。参加者からは「実践して大変さやコツがわかった」「話の内容を大人数で共有できるので良い。会議などで応用したい」「会議への臨み方をこれから少しずつ変えていきたい」など、講座で学んだことを活用していきたいという感想が聞かれました。



ワークの様子

私たちはこんなことに困っています



～若い世代66人の声から見てきたこと～

富里市に住む若い世代は、何に関心を持っているのか。また、どのような困りごとを抱えているのか。これからの富里市を担う若い世代の声を拾い、解決に向けてさまざまな力を合わせていくことで新たな富里市の魅力が生まれます。

サポートセンターでは、20～40代の66人に対面でのヒアリング調査を行い、以下のようなニーズが浮かび上がりました。

託児場所がほしい

- ・病院に行くときや買い物中の子どもの預け先があるといいな
- ・一時保育場所をもっと増やして

登下校が心配

- ・通学路なのにガードレールがない
- ・歩道がないところもある
- ・車はスピード出してるし路駐も多い
- ・見守り活動を充実させたい

困っていることは…

思い切り遊べる場所ってどこ？

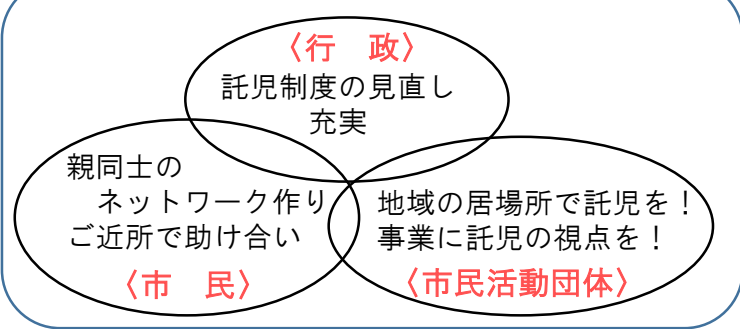
- ・公園でボール遊びがしたい
- ・校庭を開放してくれたらなあ
- ・思い切り外遊びや水遊びがしたい
- ・室内で遊べる場もあるといいな

こんなこともあんなことも

- ・買い物ボランティアが増えるといいな
- ・公共交通が少ないから運転できなくなったら不安
- ・道路への樹木のはみ出しが気になる
- ・ゴミのポイ捨てが多いな

様々な立場からの解決策を考える！

例えば託児場所の問題を考えた場合



それぞれの立場が持てる力・知恵を出しあうことが大切です。自分たちだけでは足りない部分は他から補い、共に力を合わせることで新たな展開も見えてきます。

とみさと市民活動サポートセンターでは市民・団体・行政・事業者・地域をつなぎよりよいまちづくりのお手伝いをしています。若い世代から出てきた声を生かし、協働で課題解決に向かいましょう。

令和元年度とみさと協働塾 リーダー意見交換会

10月30日（水） 会場：富里中央公民館

サポートセンターからは「データから見た富里」と題し、富里市統計書などを参考に人口の推移や小学校別の高齢化率などについて説明をしました。当日は市職員研修も兼ねており、各地域のリーダーが地域での取組を発表しました。市職員と一緒に「地域でこれから取り組みたいこと」をテーマに地域から出せる資源、行政が出せる資源は何があるかについてワークショップを行いました。地域のリーダーと市職員が一緒にワークショップを行う機会となり「各地域で困っていることや、地域ごとの事業を知ることができた。」という意見が聞かれました。

今後も、地域と行政が一体となって、協働のまちづくりを進め、よりよい富里を目指します。



ワークショップの様子

「居場所」を作りたい人相談会

「どうやっていいかわからない」から一歩抜け出そう！

今回は、2つのテーマに絞った相談会を実施します。下記の時間帯で随時ご相談をお受けします。場所：市民活動サポートセンター

4/16(木)
(申込不要です)

1 子どもの一時預かり場をつくりたい

9:00～12:00

こんな声や
あんな声

ちょっとした息抜きや、
買い物など用事を済ませ
たい時に預かって貰える
場所があったら良いな

こんな声や
あんな声

学校と自宅以外にも、自
分の居場所がほしい！み
んなでご飯を食べたり遊
べる場所があったらな

2 中高生が集まれる場をつくりたい

13:00～16:00

ブースの使用について

サポートセンター内にある市民活動ブースは、登録されている団体は無料で使用できます。ご予約は月2回まで可能です。ブースが空いている時はいつでも使用できますのでお問い合わせください。

開所時間のご案内

- 午前9時～午後5時
※土曜日でもご使用いただけます
※金曜日のみ、ご予約いただければ
午後9時まで使用可

休館日

- 毎週水曜日・日曜日・祝日
年末年始(12/29～1/3)・お盆(8/13～15)

<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター
〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1
(富里市役所敷地内 すこやかセンター1階)

- TEL/FAX : 0476-93-4123
- E-mail : tomisapo@bz04.plala.or.jp
- Facebook 「とみさと市民活動サポートセンター」



「今年こそは！！」とみんなで祈った市民活動フェスタも2月8日(土)好天の下無事に開催されました！昨年は降雪のためやむなく中止になりましたが、今年は2年ぶりに市民活動団体の日頃の活動を市民の皆さんに見て、体験してもらえた一日でした。(古)

次回は令和2年6月予定 (年4回発行)

発行部数：2200部 配布先：市内公共施設他

令和2年度「市民活動支援補助金」

市民活動団体(NPO・ボランティア・地縁団体など)の皆さんやこれから活動を始めたい方へ。

地域の課題解決のため、市民活動支援補助金を活動に役立ててください！

市民活動支援補助金申請のための 相談会及び書き方セミナー

日時： 4月3日(金) 18:00～20:00

4月7日(火) 10:00～12:00

※どちらかご都合の良い日にご参加ください

場所：とみさと市民活動サポートセンター

募集：各回10人(定員になり次第締切)

※申込締切 3/28(土) 参加費無料

内容：第1部 補助金制度についての説明

第2部 講義「申請書の書き方」

第3部 ワーク

「申請書を書いてみよう！」

※本セミナーは令和2年度予算の成立が前提となります



個別相談も
あります！

◎とみさぽ Facebook ページ 好評発信中！◎

皆さんにもっと市民活動を知っていただきたい、一緒にまちづくりを盛り上げていただきたいという想いを込めて、フェイスブックを通じて市民活動の紹介や、市内で行われる催しなど、身近な情報を盛りだくさんの内容で発信中です！フェイスブックに登録していなくても、アクセスできます。下のQRコードを読み取るとすぐに閲覧できます。

「とみさぽ Facebook」

検索

